

経営協議会学外委員からの主な意見への対応状況

経営協議会	学外委員からの主な意見等	対応状況
第 64 回 (平成 30 年 1 月 19 日)	<p>〈本学の財政状況について〉</p> <p>人事院勧告のような制度的な要因で、人件費が必然的に増額しているにもかかわらず、授業料は据え置きのままというのは、非常にアンバランスで、大きな問題ではないか。</p>	<p>毎年度の予算規模が同程度であり、人事院勧告の内容によっては、人件費が増額していくことになる。当面は経費節減に務めることとし、将来的には授業料の値上げも含めて検討する。</p>
第 65 回 (平成 30 年 3 月 22 日)	<p>〈平成 30 年度計画案について〉</p> <p>中期計画に掲げる各種の数値目標が平成 30 年度計画ではどの程度の進捗状況となっているか全体の中で何%くらいとなっているのかを示していただきたい。</p>	<p>平成 31 年度計画（案）より、年度計画案を委員に提示する際に、進捗状況がわかる数値を併せて示す等、説明に工夫を行った。</p>
	<p>〈平成 30 年度入試状況について〉</p> <p>言語文化学部への募集単位が細分化しすぎているのではないか。</p>	<p>平成 31 年度の入試より募集単位を言語文化学部において専攻言語、国際社会学部においては専攻地域を大括りにして募集を行った。</p>
第 66 回 (平成 30 年 6 月 27 日)	<p>〈平成 29 年度財務諸表等について〉</p> <p>損益計算書の経常費用に掲げている教育経費、研究経費、教育研究支援経費等、各経費の区分ごとに、前年度と比較できるようにすると、さらにわかりやすくなるのではないか。</p>	<p>財務諸表の損益計算書では、前年度との比較は分らないので、平成 30 年度の財務諸表より前年度との比較ができるようにする。</p>
	<p>〈入学辞退に関するアンケート調査 2018 について〉</p> <p>大学としての就職活動のサポートもしくは情報提供等々については、十分に情報収集して、どのような活動すれば学生にとって有益であるかということも含めてご検討いただきたい。</p>	<p>第 67 回経営協議会（平成 30 年 10 月 26 日）において、本学におけるキャリア形成に関しての取り組み状況を説明した。</p>

<p>第 67 回 (平成 30 年 10 月 26 日)</p>	<p>〈本学のキャリア支援について〉</p> <p>近年、2年も3年もかけて就職運動をしたにも関わらず、新卒大学生が3年間の間に3割退職するという問題が生じている。企業もいろいろ議論していると伺うが、大学としてどういう方針、どういう施策をとり得るかということについて、新しい選択が必要になってくる時代だと思ふ。この問題を重要な課題として、情報収集や学生に対する様々な支援の仕方、指導の仕方をお考えいただきたい。</p>	<p>正課として開講している授業「グローバルビジネスを学ぶ」の講師として、大手企業の方だけでなくベンチャー企業を興されている方にも講師として来ていただき、学生たちに様々な情報をきちんと伝えていくとともに、本学同窓会組織である「東京外語会」と協力して実施しているキャリア相談員制度を見直し、卒業後の女性への就職支援や在学生とともに卒業生向けに情報提供していく仕組みを検討し、5月から実施予定としている。</p>
---------------------------------------	---	--